

# 西尾市事務評価シート

事務No.	24-015	事務内容	旧海の歴史館オープニングイベントに関すること				
総合計画施策コード	643		事務開始年度	平成29年度		担当課名	佐久島振興課
予算科目	02款	01項	14目	大事業	06		
事務事業名 (中事業名)	旧海の歴史館管理運営事業 ( )						

## 事務の概要

### ●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	旧海の歴史館（現：佐久島ナビステーション）が平成29年10月1日に開所することに伴い施設名称の決定と開所式及びオープニングイベントを実施する。
事務の対象 (誰(何)のために)	開所式案内者及び市民
事務の概要 (具体的に何を)	旧海の歴史館（現：佐久島ナビステーション）が平成29年10月1日に開所することに伴い施設名の決定と開所式の開催に併せて一色高校の吹奏楽部の演奏と茶道部の呈茶のオープニングイベントを実施する。

### ●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	0円	0円	0円	
人工	0.0人	0.1人	0.0人	
人件費②	0円	710,461円	0円	
総事務費③(①+②)	0円	710,461円	0円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	0円	710,461円	0円
	その他( )	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	710,461円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.00%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額	
	なし			

### ●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	オープニングイベントの開催					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
	活動一単位当たりのコスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		0円		710,461円		0円	

●事業の終期

事務No. 24-015

事務の終了時期	平成29年度	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目	評価	評価項目	評価			
	妥当性	市が実施することが適当であるか		3	効性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	3
評価	妥当性	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3	公平性	事務時間は適切なものになっているか	3	
	妥当性	課題, 目標, 成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	3		公平性	事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	3
	有効性	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3		公平性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3
評価	有効性	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3	公平性	受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	3	
	有効性	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		公平性	サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3
	評価の総合的なコメント		公共施設再配置の事業の一環であり、SPCと協議しながら実施した。				
事務の方向性	(評価)	今後は事務を廃止する。					
	(理由)	旧海の歴史館（現：佐久島ナビステーション）のオープニングに関する事業であり、継続する必要が無いため。					
民間委託又は市民協働拡大の方向性	単年度事業のため、継続なし。						
事務全体の課題	施設の名称の決定については、要求水準書によりSPCと協議しながら実施する必要があった。						

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	特に近隣市の同類事務はなし。
---------------	----------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	特になし。
-----------------	-------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	特になし。
--------	-------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	目的を達成した事務を廃止することは評価できます。
----------	--------------------------

# 西尾市事務評価シート

事務No.	24-033	事務内容	電気自動車に関すること				
総合計画施策コード	---		事務開始年度	平成29年度		担当課名	佐久島振興課
予算科目	02款	01項 14目	大事業	02	中事業		
事務事業名 (中事業名)	佐久島活性化事業 ( )						

## 事務の概要

### ●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	佐久島で電気自動車の実証実験を行い、ガソリン等燃料が割高となる離島での電気自動車の普及をするため。
事務の対象 (誰(何)のために)	佐久島住民。
事務の概要 (具体的に何を)	電動自動車会社と電気自動車2台、電気式オートバイ1台の無償賃貸借契約を締結し、電気自動車の実証実験を実施する予定であった。

### ●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	0円	0円	0円	
人工	0.0人	0.0人	0.0人	
人件費②	0円	0円	0円	
総事務費③(①+②)	0円	0円	0円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	0円	0円	0円
	その他( )	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	0円		H29 総事務費③の対前年度比率	0.00%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要		金額
	なし			

### ●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	電気自動車2台、電気式オートバイ1台の実証実験					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		0台		3台			
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		0円		0円		0円	

●事業の終期

事務No. 24-033

事務の終了時期	平成29年度	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目	評価	評価項目	評価		
	妥当性	市が実施することが適当であるか		2	効性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか
評価	妥当性	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2	公平性	事務時間は適切なものになっているか	1
	妥当性	課題, 目標, 成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	1		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	1
	有効性	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	1		受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	1
評価	有効性	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	1	公平性	受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	1
	有効性	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	1		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	1
	評価の総合的なコメント		電気自動車2台、電気式オートバイ1台の実証実験を計画したが、貸与された車輛のバッテリーが老朽化しており、一般道での走行ができなかった。			
事務の方向性	(評価)	今後は事務を廃止する。				
	(理由)	電気自動車2台、電気式オートバイ1台の実証実験を計画したが、貸与された車輛のバッテリーが老朽化しており、一般道での走行ができないため、事業は廃止する。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	事業は継続しない					
事務全体の課題	電動自動車の実証実験が、誰のためのものか明確ではない事業であり、現状の島の状況から考えると、時期尚早であった。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	同類事務の近隣市の状況なし
---------------	---------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	特になし
-----------------	------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	電気自動車の実証実験については、島民の意見を反映して行う。
--------	-------------------------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	誰のためのものか明確ではない事業の廃止は当然と考えます。今後は何のための事務かを明確にし、事務を執行していただきたい。
----------	---

# 西尾市事務評価シート

事務No.	24-035	事務内容	夜空と交差する森の映画祭2017in佐久島に関すること				
総合計画施策コード	114		事務開始年度	平成29年度		担当課名	佐久島振興課
予算科目	02款	01項	14目	大事業	02		
事務事業名 (中事業名)	佐久島活性化事業 ( )						

## 事務の概要

### ●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	夜空と交差する森の映画祭2017in佐久島の開催し、佐久島の離島振興と観光PRを図るため
事務の対象 (誰(何)のために)	森の映画祭の参加者及び島内観光業者
事務の概要 (具体的に何を)	佐久島でのオールナイトの映画フェス「夜空と交差する森の映画祭2017in佐久島」を10/7(土) 10/8(日)に開催した。

### ●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	0円	0円	0円	
人工	0.0人	0.1人	0.0人	
人件費②	0円	710,461円	0円	
総事務費③(①+②)	0円	710,461円	0円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	0円	710,461円	0円
	その他( )	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	710,461円		H29 総事務費③の対前年度比率	0.00%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要		金額
	なし			

### ●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	夜空と交差する森の映画祭2017in佐久島の開催					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		0回		1回		0回	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標						
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		0円		710,461円		0円	

●事業の終期

事務No. 24-035

事務の終了時期	平成29年度	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目	評価	評価項目	評価			
	妥当性	市が実施することが適当であるか		2	効性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	3
評価	妥当性	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2	公平性	事務時間は適切なものになっているか	1	
	妥当性	課題, 目標, 成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	2		公平性	事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	1
	有効性	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3		公平性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	2
評価	有効性	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	0	公平性	受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	2	
	有効性	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	0		公平性	サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	2
	評価の総合的なコメント		民間の実行委員会が入場料を徴収して実施する事業であり、本来はすべてを民間が実施する事業				
事務の方向性	(評価)	今後は事務を廃止する。					
	(理由)	単年度の事業であるため。					
民間委託又は市民協働拡大の方向性	単年度の事業であり、継続性なし。						
事務全体の課題	佐久島が開催場所ということで、佐久島振興課が半年間、実行委員会と島側の調整を行った。本来、料金を徴収して実行委員会が開催する事業であるため、実行委員会が全て行う事業であった。						

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	近隣市の実施状況なし
---------------	------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	特になし
-----------------	------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	佐久島で大型のイベントを開催するときは、事業主体と佐久島振興課の立場を明確にして事業をすすめる。
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	改善案にもあるとおり、今後同様のイベントが行われる場合に、過度な事務負担がないよう調整していただきたい。
----------	--